

全国初！「人と環境に優しい」環境配慮型学校給食食器の導入（京都府福知山市） 福知山市×パナソニックグループ 公民連携の取組

取組概要

福知山市が導入した環境配慮型学校給食食器は、パナソニックグループが開発した植物繊維(セルロースファイバー)を高濃度で複合する最先端技術により製品化されたものであり、全国で初めて、「学校給食の共創プロジェクト」として、福知山市とパナソニックグループとの公民連携で取り組んだもの。食器の原材料は、福知山市内の森林間伐材を使用。

福知山市が独自に環境配慮型学校給食食器の導入による環境負荷低減に取り組むと共に、小中学校において安心安全で使いやすい食器を開発し、その食器を使っの給食を通して環境教育とシビックプライドを育む取組。

人口 75,343人 (R6.1.1現在)

担当 教育委員会学校教育課



「人と環境に優しい」環境配慮型学校給食食器

取組の効果

本市のヒノキ間伐材(6トン)を原材料として使用した環境配慮型給食食器となる。パナソニックグループが開発した最先端技術による給食食器の製品化は国内初である。環境・SDGsの視点、本市木材の活用、シビックプライドの醸成など教育的視点が加味された複合的な価値のある学校給食食器であり、児童生徒や市民が誇れる食器であることの意味は大きい。

あわせて、給食食器導入の際に市立学校全児童生徒を対象として取り組んだ独自の環境学習や小学5年生を対象に行っている「SDGs社会見学」による子どもたちへのSDGsの視点での教育効果は大きいものにとらえている。今後、「大阪・関西万博」により、この取組を国内外へ発信していく。

創意・工夫した点

パナソニックグループの植物繊維を高濃度で複合する最先端技術を活用し、本市内の森林間伐材(ヒノキ)を原材料として使用し、国内初の環境配慮型給食食器の製品化に取り組んできた。

児童生徒が安心安全で使いやすい食器となるよう試作段階で洗浄消毒や、形、色、重さなどの検証を何度も繰り返し、本市とパナソニックグループとが共同で工夫して製品化した学校給食食器である。

他団体へのアドバイス

大きな夢を描くと全国の自治体の学校給食食器が石油製品から植物繊維製品になる未来を描いており、私たちの取組である給食や給食食器に教育的な意義を見出し、環境教育やSDGsの視点で取組を進めようとする自治体や他団体の皆様との情報交換や交流ができればと考えている。



市内全児童生徒に独自の環境教育を実施